

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2025 年 11 月 6 日

11 月 6 日（木）、金沢大学がん進展制御研究所において、オリエンタル酵母工業株式会社・バイオ事業本部 保田 尚孝 先生による、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、破骨細胞形成抑制因子 OPG および破骨細胞分化因子 RANKL の発見の経緯から、RANKL 中和抗体の特許出願に至るまで、当時の海外競合グループとの熾烈な研究競争の逸話を交えながらご講演いただきました。また RANKL 中和抗体を活用した新たながん免疫療法の可能性や、さらにはアカデミアと産業界双方でのご経験を基に、産学連携の重要性やキャリアパス形成についても幅広くお話しいただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約 30 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。





がん進展制御研究所セミナー

Seminar

保田 尚孝 先生

オリエンタル酵母工業株式会社・バイオ事業本部 本部長付、
東京歯科大学・客員教授、昭和医科大学・兼任講師

RANKLの発見から 未来への展望へ

2025年11月6日 木 17:00~18:00

金沢大学未来知実証センター 3階オープンフロア
(角間キャンパス南地区、自然科学1号館2階と連絡通路で接続)

保田先生は、破骨細胞形成抑制因子OPG、破骨細胞分化因子RANKLの発見およびRANKL中和抗体の開発において世界をリードされてきました。保田先生が世界に先駆けて特許出願されたヒトRANKL中和抗体は、米国Amgen社により抗体医薬（デノスマブ）として臨床応用され、2024年には全世界で約1兆円の売上を達成しています。また、RANKL中和抗体を活用した新たながん免疫療法の可能性にも着眼され、免疫チェックポイント阻害剤との併用療法の基盤を築かれています。これまで米国ハーバード大学医学部、東京大学医科学研究所での研究活動から、雪印乳業、オリエンタル酵母工業での産業界での研究開発まで、アカデミアと産業界双方で豊富なご経験をお持ちです(特許出願50件)。現在も教育活動、産学連携やキャリアパス教育にも積極的に取り組まれています。本セミナーが、基礎研究から臨床応用、さらには事業化に至るまでのイノベーション創出に向けた新たな視座を得る貴重な機会となれば幸いです。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

連絡先

金沢大学がん進展制御研究所
免疫環境ダイナミクス研究分野
教授 岡本 一男

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL 076-264-6726 (内線6726) FAX 076-234-4532

